



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日  
東

上場会社名 福留ハム株式会社 上場取引所  
 コード番号 2291 URL 082-278-6161  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 治彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理部長 (氏名) 深町 誠 (TEL) 082-278-6161  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月22日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	24,895	1.9	△365	—	△336	—	△1,194	—
2022年3月期	24,420	—	△372	—	△327	—	△718	—

(注) 包括利益 2023年3月期 △1,224百万円(—%) 2022年3月期 △897百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	△357.95	—	△42.1	△2.4	△1.5
2022年3月期	△215.20	—	△18.4	△2.2	△1.5

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	13,706	2,227	16.2	667.10
2022年3月期	14,452	3,451	23.9	1,034.01

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,226百万円 2022年3月期 3,450百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△49	△278	292	2,149
2022年3月期	205	△198	△337	2,184

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,670	4.6	0	—	25	—	10	—	3.00
通 期	26,000	4.4	70	—	100	—	90	—	26.97

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2023年3月期	3,400,000株	2022年3月期	3,400,000株
2023年3月期	63,050株	2022年3月期	63,010株
2023年3月期	3,336,970株	2022年3月期	3,337,003株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	24,895	1.9	△373	—	△338	—	△1,194	—
2022年3月期	24,420	—	△374	—	△326	—	△701	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	△357.91		—					
2022年3月期	△210.22		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年3月期	13,703		2,219		16.2	665.08		
2022年3月期	14,450		3,463		24.0	1,037.78		

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,219百万円 2022年3月期 3,463百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	1
(1) 当期の経営成績の概況 .....	1
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年4月1日～2023年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの経済社会活動に回復が見られ、人流の拡大やインバウンド需要の回復もあり、個人消費は緩やかな持ち直しの動きがみられました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢の長期化の影響に加え、エネルギー価格や原材料価格の高騰など、コストプッシュ型インフレの進行により依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、原材料費やエネルギーコスト、物流コストなどの大幅な上昇が企業収益を圧迫しており、物価上昇に伴う度重なる値上げや景気の先行き不安からくる消費者の節約志向は一層厳しさを増し、競合他社との価格競争の激化や消費マインドが低下するなど、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、今期を最終年度とした「中期経営計画2021年3月期 - 2023年3月期」において、「開発・調達・製造・物流・販売の連携強化を通じた相乗効果の創出」をテーマとして「商品開発の強化」、「販売戦略の構築と実行」、「新規市場へのチャレンジ」の三点に取り組んでおり、各重点施策の展開を実行してまいりました。また、原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇をうけ、販売価格への転嫁や商品規格変更を行い、生活様式の多様化に対応した商品展開や新商品の開発など、収益力向上と経営体質強化に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、248億95百万円(前年同期は244億20百万円)となりました。利益につきましては、営業損失は3億65百万円(前年同期は営業損失3億72百万円)、経常損失は3億36百万円(前年同期は経常損失3億27百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は減損損失を8億30百万円計上したことにより11億94百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失7億18百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 加工食品事業

加工食品事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の緩和に伴い市場が回復傾向にあるなか、人流の拡大による業務用商品の需要が高まり、大容量商品としてウイナー群の大袋商品などが伸びました。また、同業他社との価格競争の激化や量販店向け商品の販売量が減少いたしました。また、価格改定に伴う販売価格の上昇により、売上高は増加いたしました。利益につきましては、販売価格が上昇したことやコスト削減に取り組んだものの、急激な円安による原材料価格の高騰や燃料価格上昇によるエネルギーコストの上昇もあり、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は107億75百万円(前年同期は107億32百万円)、セグメント利益(営業利益)は1億92百万円(前年同期比26.4%減)となりました。

#### 食肉事業

国産牛肉は、量販店向けの販売が好調に推移したことに加え、販売単価の上昇や仕入の見直しにより、売上高・利益とも前年同期を上回りました。また、国産豚肉におきましても、ブランド豚の販売強化で取扱量の拡大に取り組み、売上高・利益とも前年同期を上回りました。その一方で、輸入食肉におきましては、継続した仕入価格高騰に起因した国内需要の減退などがあったものの、外食・中食等の業務筋に向けての冷凍商材の販売強化と販路の拡大を行い、販売量・売上高は減少しましたが、利益は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は141億20百万円(前年同期は136億88百万円)、セグメント損失(営業損失)は15百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)は1億27百万円)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産の部)

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億45百万円減少の137億6百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億29百万円増加の61億47百万円となりました。主な要因は、売掛金2億5百万円の増加によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ9億74百万円減少の75億59百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物2億38百万円、土地6億41百万円の減少によるものであります。

## (負債の部)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億78百万円増加の114億79百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ4億12百万円増加の73億87百万円となりました。主な要因は、短期借入金1億74百万円と未払金67百万円の増加によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ66百万円増加の40億92百万円となりました。主な要因は、長期借入金1億72百万円の増加と退職給付に係る負債65百万円の減少によるものであります。

## (純資産の部)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億24百万円減少の22億27百万円となりました。主な要因は、利益剰余金11億94百万円の減少によるものであります。以上の結果、自己資本比率は16.2%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、49百万円（前連結会計年度は2億5百万円の資金獲得）となりました。主な要因は、減価償却費4億63百万円、減損損失8億30百万円、税金等調整前当期純損失11億67百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億78百万円（前連結会計年度は1億98百万円の資金使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出3億45百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、2億92百万円（前連結会計年度は3億37百万円の資金使用）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入5億円と長期借入金の返済による支出2億53百万円によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	33.2	26.7	27.4	23.9	16.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	42.2	40.5	42.7	43.2	36.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	23.0	17.5	28.5	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	0.0	3.5	5.2	3.0	0.0

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

- (注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。  
 2. 「株式時価総額」は、(期末株価終値) × (期末発行済株式数) により算出しております。  
 3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。  
 4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象にしております。  
 5. 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により人流の拡大や個人消費の回復とともに経済活動の回復が期待されるものの、世界的な金融引き締めが続く中、物価上昇や供給面での制約、さらには金融資本市場の変動など、引き続き景気下振れリスクに注視が必要な状況で推移すると予想されます。

当業界におきましても、原材料価格やエネルギーコスト等の上昇に加え、労働コストならびに物流コストの上昇などが消費マインドに与える影響を考慮し、生活様式の多様化に対応した商品展開や新商品の開発などへの対応が求められると考えられます。

このような状況のなか、当社グループは成長戦略構築と収益体質改善を最重要課題として、以下の三点に取り組んでまいります。

##### 1 商品の競争力強化

食品メーカーとして消費者ニーズを把握する中、新商品開発ならびにブラッシュアップにより商品付加価値を高め、消費者から選ばれ続ける商品造りに注力してまいります。

##### 2 営業力強化による販売拡大

ブランド戦略、商品戦略、取引先戦略等の営業戦略を明確にする中、商談力強化と営業活動効率化により販売拡大に取り組んでまいります。併せて、業務用市場、ギフト市場、ネット市場等の新規市場での販売拡大に注力し、新たなビジネスモデル構築に取り組んでまいります。

##### 3 業務の見直しによる収益構造改革

原材料の安定調達と仕入の見直しによる原価低減や取扱い商品の絞り込みによる生産性向上ならびに業務のシステム化推進による全体経費の削減に取り組み、収益構造改革を推し進めてまいります。

次期の業績につきましては、売上高260億円(前年同期は248億95百万円)、営業利益70百万円(前年同期は営業損失3億65百万円)、経常利益1億円(前年同期は経常損失3億36百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益90百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失11億94百万円)を見込んでおります。

今後の国内景気ならびに消費動向、さらには原材料費、動力費等の製造コストの見通しが不透明な状況であり、業績予想につきましては、現時点において当社グループが把握している情報を基に軽微と見込んで算出しております。今後も大きく変動する可能性があるため、業績動向を踏まえ修正がある場合には速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後のIFRS適用については、国内の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,354	2,319
受取手形	15	15
売掛金	2,362	2,568
商品及び製品	894	967
仕掛品	51	39
原材料及び貯蔵品	211	214
前払費用	24	26
その他	16	14
貸倒引当金	△13	△18
流動資産合計	5,918	6,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,415	2,177
機械装置及び運搬具（純額）	662	714
土地	2,888	2,247
リース資産（純額）	105	73
建設仮勘定	8	-
その他（純額）	62	45
有形固定資産合計	6,143	5,258
無形固定資産		
電話加入権	21	21
リース資産	60	47
その他	41	30
無形固定資産合計	123	99
投資その他の資産		
投資有価証券	2,055	1,995
出資金	42	42
敷金及び保証金	86	86
保険積立金	34	34
その他	153	141
貸倒引当金	△103	△98
投資その他の資産合計	2,267	2,201
固定資産合計	8,534	7,559
資産合計	14,452	13,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,080	2,190
短期借入金	4,079	4,253
リース債務	52	40
未払金	431	498
未払費用	85	86
未払法人税等	47	46
賞与引当金	154	154
その他	44	116
流動負債合計	6,974	7,387
固定負債		
長期借入金	1,779	1,951
リース債務	117	84
役員退職慰労引当金	340	356
退職給付に係る負債	1,511	1,445
繰延税金負債	239	216
その他	37	38
固定負債合計	4,026	4,092
負債合計	11,001	11,479
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	△1,256	△2,451
自己株式	△80	△81
株主資本合計	2,857	1,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	604	555
退職給付に係る調整累計額	△11	8
その他の包括利益累計額合計	593	563
非支配株主持分	0	0
純資産合計	3,451	2,227
負債純資産合計	14,452	13,706



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	24,420	24,895
売上原価	20,611	20,993
売上総利益	3,808	3,902
販売費及び一般管理費	4,181	4,267
営業損失(△)	△372	△365
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	44	46
不動産賃貸料	55	55
補助金収入	21	-
その他	24	24
営業外収益合計	145	127
営業外費用		
支払利息	67	66
不動産賃貸費用	29	28
その他	3	3
営業外費用合計	100	98
経常損失(△)	△327	△336
特別利益		
有形固定資産売却益	186	-
特別利益合計	186	-
特別損失		
減損損失	550	830
特別損失合計	550	830
税金等調整前当期純損失(△)	△692	△1,167
法人税、住民税及び事業税	26	26
法人税等合計	26	26
当期純損失(△)	△718	△1,194
非支配株主に帰属する当期純利益	0	△0
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△718	△1,194

## 連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純損失(△)	△718	△1,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184	△49
退職給付に係る調整額	5	19
その他の包括利益合計	△179	△29
包括利益	△897	△1,224
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△897	△1,224
非支配株主に係る包括利益	0	△0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価 差額金	退職給付に 係る調整 累計額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	2,691	1,503	△538	△80	3,575	788	△16	772	0	4,348
当期変動額										
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△718		△718					△718
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						△184	5	△179	0	△179
当期変動額合計	-	-	△718	△0	△718	△184	5	△179	0	△897
当期末残高	2,691	1,503	△1,256	△80	2,857	604	△11	593	0	3,451

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価 差額金	退職給付に 係る調整 累計額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	2,691	1,503	△1,256	△80	2,857	604	△11	593	0	3,451
当期変動額										
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,194		△1,194					△1,194
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						△49	19	△29	△0	△29
当期変動額合計	-	-	△1,194	△0	△1,194	△49	19	△29	△0	△1,224
当期末残高	2,691	1,503	△2,451	△81	1,662	555	8	563	0	2,227

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△692	△1,167
減価償却費	536	463
減損損失	550	830
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15	16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△36	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△97	△45
受取利息	△0	△0
受取配当金	△44	△46
補助金収入	△21	△2
支払利息	67	66
有形固定資産売却損益 (△は益)	△186	-
売上債権の増減額 (△は増加)	65	△206
棚卸資産の増減額 (△は増加)	23	△62
仕入債務の増減額 (△は減少)	67	83
その他	△23	65
小計	225	△5
利息及び配当金の受取額	44	46
利息の支払額	△67	△66
補助金の受取額	21	2
法人税等の支払額	△18	△26
営業活動によるキャッシュ・フロー	205	△49
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△50	-
有形固定資産の取得による支出	△399	△345
有形固定資産の売却による収入	265	-
有形固定資産の売却に係る手付金収入	-	72
投資有価証券の取得による支出	△12	△12
無形固定資産の取得による支出	△5	△1
その他	2	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△198	△278
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20	100
長期借入れによる収入	-	500
長期借入金の返済による支出	△288	△253
リース債務の返済による支出	△68	△53
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△337	292
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△330	△35
現金及び現金同等物の期首残高	2,515	2,184
現金及び現金同等物の期末残高	2,184	2,149

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品及び提供するサービスについて包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。従って、事業部を基礎とした商品及び提供するサービス別セグメントから構成されており、「加工食品事業」及び「食肉事業」の2つを報告セグメントとしております。

「加工食品事業」は、主にハム・ソーセージ・加工食品の製造及び販売を主な事業としており、「食肉事業」は、主に食肉の生産及び販売を主な事業としております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,732	13,688	24,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	10,732	13,688	24,420
セグメント利益又は損失 (△)	261	△127	133
セグメント資産	5,929	2,591	8,520
その他の項目			
減価償却費	416	59	475
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	347	7	355

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,775	14,120	24,895
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	10,775	14,120	24,895
セグメント利益又は損失(△)	192	△15	176
セグメント資産	5,540	2,759	8,299
その他の項目			
減価償却費	364	34	399
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	347	5	353

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	133	176
全社費用(注)	△506	△542
連結財務諸表の営業損失(△)	△372	△365

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,520	8,299
全社資産(注)	5,931	5,407
連結財務諸表の資産合計	14,452	13,706

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余剰運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)、本社建物等であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	475	399	61	64	536	463
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	355	353	37	43	393	396

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門に係る設備投資額であります。

【関連情報】

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失	474	75	550	—	550

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失	450	—	450	379	830

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,034.01円	667.10円
1株当たり当期純損失(△)	△215.20円	△357.95円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△718	△1,194
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(百万円)	△718	△1,194
普通株式の期中平均株式数(株)	3,337,003	3,336,970

(重要な後発事象)

該当事項はありません。